

# 福祉サービス第三者評価 評価調査結果

対象事業所: 星川ルーナ保育園  
事業者: 社会福祉法人 明真会

実施概要	1 ページ
総合評価 (評価結果についての講評)	2～3 ページ
評価領域ごとの特記事項	4 ページ
分類・項目別評価結果	5～12 ページ
利用者家族アンケート分析・集計結果	13～19 ページ
利用者本人調査分析	20 ページ
事業者意見	22 ページ

平成 18 年 4 月 19 日 公表

実施機関: 特定非営利活動法人 市民セクターよこはま

## 実施概要

事業所名	社会福祉法人明真会 星川ルーナ保育園	
報告書作成日	平成 18 年 3 月 17 日	評価に要した期間 約 3 ヶ月間
評価機関	特定非営利活動法人 市民セクターよこはま	

## 評価方法

<p>1、自己評価</p> <p>実施期間: H17 年 8 月中旬 ~ 12 月 9 日</p>	<p>職員会議で趣旨等を説明して、常勤・非常勤すべての職員各個人が記入した。</p> <p>各個人が記入したものをもとに、クラスごとに会議を開き、意見交換をしながら、1項目ずつ確認合意した。</p> <p>それを持ち寄り、各クラスリーダー、主任、園長で協議・合意してまとめた。</p>
<p>2、利用者家族アンケート調査</p> <p>実施期間: H17 年 11 月 19 日 ~ 12 月 9 日</p>	<p>全利用者の保護者 117 人に対して事業者側から保護者へ手渡し。同封の返送用封筒にて、評価機関宛匿名で返送。</p>
<p>3、訪問実地調査</p> <p>実施日: 第 1 日 H18 年 1 月 23 日 第 2 日 H18 年 1 月 27 日</p>	<p>第 1 日は、午前中、各クラスの観察調査。昼食は各クラスで。午後は、5 歳児への聞き取り調査と書類調査、その後園長に事業者聞き取り調査。</p> <p>第 2 日は、午前中、園長に事業者聞き取り調査と一時保育の観察調査。午後は保育士・栄養師・主任に事業者聞き取り調査。最後に園長と意見交換後、終了。</p>
<p>4、利用者本人調査</p> <p>観察実施日: 第 1 日 H18 年 1 月 23 日 第 2 日 H18 年 1 月 27 日 聞き取り実施日: 第 1 日 H18 年 1 月 23 日</p>	<p>観察調査は、3 つの保育室 (2 歳児、3 歳児、5 歳児) 毎に保育室・園庭で実施。</p> <p>聞き取り調査は、5 歳児 16 人を 4 グループに分け、各グループ約 15 分間、保育室で実施。先生は同席せず。</p>

## 総合評価（評価結果についての講評）

星川ルーナ保育園は相鉄星川駅から徒歩5分の沿線にあります。2002年6月社会福祉法人明真会により開設された定員120人の大型園ですが、前身は伊勢佐木町にあった無認可保育所(のちに横浜保育室)で、22年の実績があります。産休明け保育、7時から21時までの長時間保育を実施し、一時保育にも力をいれています。保育の基本方針として、「情緒豊かな子、自主性のある子、社会性のある子」を掲げています。

### 高く評価できる点

#### 1、ゆとりがあり、連携が良い職員集団

非常勤職員も含めた勤務体制の工夫により、職員がゆとりを持って配置されており、園児に休みがあると他のクラスを応援したり、保育準備や製作に携わったりするなど余裕がみられます。

早朝や延長保育の子ども様子は、引継ぎノートと口頭でしっかり引き継がれ、保育中の連携もスムーズに行われています。毎日午後、30分間の申し合わせのミーティングがあり、連絡事項、クラスや子どもの報告、相談、アドバイスなど多くのことが、穏やかな雰囲気の中で話し合われ、それらは各クラスに持ち帰って職員全員に報告されています。

ゆとりのある職員配置と情報の細やかな共有により、子どもたちの健康や安全にも十分に目が届いた保育が行われています。

#### 2、保護者が働き易いさまざまなサービス

園長の長年の経験を活かして、保護者が働きやすい園づくりを心がけています。産休明け保育や長時間保育は、多様な働き方を支援するためには当然のこととして実施し、時間延長サービスにも柔軟な対応をし、料金も利用回数に応じた設定にして利用しやすく配慮しています。また、布団カバーの無償貸与や子ども向け月刊誌の無料配布等、経済的負担の軽減にも努めています。

毎月配布される「園だより」は全クラスの様子が生き生きと報告されて、子どもの育ちの全体がわかるようになっており、季節に応じた健康・育児情報、防災情報や歌の楽譜も載せられ、充実しています。

給食は外部業者に委託していますが、園との連携は密接で、内容の良い食事を提供しています。

#### 3、子育て支援へ工夫のある取り組み

一時保育のために広い専用の保育室があり、ベテラン保育士が専任で携わっています。常時一時保育を行っていますが、金曜日はリフレッシュ保育(地域で乳幼児を育児中の親がリフレッシュするための一時保育)として午前中子どもを預かった後30分間、専門講師による親子の体操やリトミックを実施しています。調査日にも心身ともにリフレッシュして帰路につく数組の親子が見られました。この企画を始めてから、月20組以上の親子が利用するようになっています。

毎月1回、降園時間に合わせて、外部の臨床心理士による育児講座と育児相談「ひだまり」を実施し、園の保護者とともに一時保育の親も参加しています。

また、地域の親子が1、2歳児の保育に参加して交流する「ファンファンルーナ」も月1回実施しています。障がいを持つ子どもも含め、1回平均7組の参加があります。

### 独自に取り組んでいる点

#### 1、恵まれた環境で、さまざまな経験を積んでいる子どもたち

2歳から外部講師によるリトミックを始め、3歳になると体操、英語の時間が加わり、5歳児にはひらがなや数字のワークの時間もあります。体操やリトミックは広いホールを使って存分に体を動かす

ことができます。このような設定されたプログラムが充実しています。

園庭の砂は速乾性があり、雨後も早く園庭を使うことができます。ルーナガーデンという広い畑ではさまざまな野菜を植え、食育にも活かしています。

近くに公共施設が多く、消防署や警察、地区センターや図書館、公園に出かけ、経験を増やしています。

## 改善や工夫が望まれる点

### 1、子どもの主体性や仲間関係を一層伸ばす保育を

当園では「0・1歳児は人間への信頼感を育て、2・3歳児は自我の目覚めを伸ばし、4・5歳児は自我や社会性を伸ばす」という目標を定めています。大人との信頼関係や情緒の安定、生活面のしつけなどは成果を挙げているように見えます。今後、自由に遊び込める時間を工夫し、一層子どもの主体性を伸ばし、仲間関係を築いていく保育をすすめることが望まれます。

### 2、職員の専門性と豊富な設備を活かし、地域へ開かれた園へ

職員が専門性を活かして定期的な育児相談を実施したり、これまで実績のある育児講座と育児相談「ひだまり」や1、2歳児の交流保育「ファンファンルーナ」を地域へ広く広報していくこと、地域の町内会や団体との連携を強めていくことで、園の地域での存在意義も増していくことと思われま

す。今春にプロジェクターを使用した絵本の読み聞かせが予定されていますが、このような園の豊富な施設、設備を活かした地域支援が定期的実施されることが望まれます。

### 3、保護者とのより緊密な関係づくり

園長・主任はじめ職員は、保護者との信頼関係を築くよう日々連絡帳を交わし、玄関に幼児クラスの様子を書いたボードを掲示し、また送迎時の意見交換など努力をしています。

今後は、個人面談など保護者とじっくり話す機会を設けたり、保育中の子どもたちと直接接して、子どもの理解を深めることができる保育参加を実施したり、苦情対応についての園の姿勢を保護者に説明し、出された意見・要望を蓄積・整理して解決に活かしていくことにより、園と保護者の関係が一層緊密になるものと期待されます。

当評価機関では、「障害」を「障がい」と表記します。

## 評価領域ごとの特記事項

かながわ福祉サービス第三者評価推進機構が定めた「評価領域」に則って、記載しています。

### 1、人権への配慮

- ◇ 保育の基本方針として「情緒豊かな子、自主性のある子、社会性のある子」を掲げ、子どもを尊重したものとなっています。
- ◇ 虐待の定義や早期発見のポイントは全職員に周知され、必要な場合は児童相談所など関係機関に連絡、相談できる体制ができています。
- ◇ 守秘義務については就業規則に明示され全職員が認識していますが、個人情報保護に関するガイドラインは未整備です。子どもの名前の一部呼び捨てや一方的な叱責などが見られ、改善が望まれます。

### 2、利用者の意思・可能性を尊重した自立生活支援

- ◇ 保育計画に基づき、年齢ごとに子どもの主体性を大切にしよう指導計画を立てています。
- ◇ 日常の保育の中で、乳児では子どもの表情や態度から意思を汲み取り、幼児からは意見を聞く努力をしています。
- ◇ 幼児クラスは、リトミック、体操、英語などの設定活動が多く行われていますが、主体的に遊び始める時間の工夫も望まれます。

### 3、サービスマネジメントシステムの確立

- ◇ 職員配置にゆとりがあり、また職員間の連携・チームワークがよく、いつでも子どもたちへの目が行き届いています。
- ◇ 保育に関する業務マニュアル、安全管理マニュアル、衛生管理マニュアル等が整備されていますが、それらの見直しと周知徹底が今後の課題です。
- ◇ 苦情対応マニュアルがあり、意見箱が設置されている他、保護者は意見・要望などを担任、園長に直接、または連絡帳などを利用して伝えることができますが、苦情対応のしくみについては保護者に十分に説明されていません。また、これまでの要望を記録し、分析するまでには至っていません。

### 4、地域との交流・連携

- ◇ 一時保育専用の部屋を設け、専任のベテラン保育士を配置して、子育て支援に積極的に取り組んでいます。特に、リフレッシュ保育の日（地域で育児中の親がリフレッシュするための一時保育）を毎週1回設けたり、1・2歳児クラスで地域の親子が保育に参加する機会（交流保育）を持ったりしています。障がいを持つ子も受け入れています。
- ◇ 園児の散歩コースに近隣の警察署や消防署等の見学を取り入れたり、5歳児は近くの図書館へでかけたりと、地域との交流に努めています。
- ◇ 小学2年生がクラス単位で来園し、子どもたちと一緒に遊ぶ機会を持っています。
- ◇ 開園後3年半と未だ日が浅く、地元町内会や諸団体等との連携を深めることや、育児相談日の設置、子育てや保育に関する地域住民に対する講習・研修会開催などが今後の課題です。
- ◇ ボランティアの受入れマニュアルが未整備です。

### 5、運営上の透明性の確保と継続性

- ◇ 保育基本方針が定められ、職員に周知されています。また、「入園のしおり」に基本方針を明記し、保護者懇談会でも説明しています。
- ◇ 保育に直接関連する事項は、毎日のミーティング、職員会議等で議論され、全職員が知る仕組みができています。
- ◇ 年度事業報告、年度事業計画は理事会に提出されていますが、今後職員へ説明することも望まれます。
- ◇ 開園後3年半と日が浅いですが、現在の経営上の課題を洗い出し、それを踏まえた中・長期計画を策定、実行に移すことで、より一層の発展が可能になると考えられます。

### 6、職員の資質向上の促進

- ◇ 職員が複数配置されているクラスでは、年間のリーダーを定めていますが、その他の職員が週間リーダー役を1週ごとに交代で務めるようにし、各人が、様々な経験を積めるように配慮しています。
- ◇ 職員の資質向上のため、外部研修に参加させていますが、その成果を全職員で共有する仕組みはありません。また、内部研修の実施も課題です。
- ◇ 今後、人材育成計画を策定し、個々の職員の資質向上に体系的に取り組むことが望まれます。

## 分類別評価結果

横浜市評価基準を使用しています。評価基準の詳細については、横浜市福祉局「福祉サービス第三者評価」のホームページ <http://www.city.yokohama.jp/me/fukushi/hyouka/index.html#qg> を参照してください。









「ひょう太」の数の意味は以下の通りです。

3つ：高い水準にある 2つ：一定の水準にある 1つ：改善すべき点がある



評価分類の結果は、各分類を構成する1～6つの項目の評価結果で決まります。「ひょう太」が1つしかつかない項目が1つでもあると、その項目の属する評価分類の結果は「ひょう太」1つとなります。

### 評価領域 利用者（子ども）本人の尊重





評価分類	評価の理由(コメント)
<p>- 1 保育方針の共通理解と保育計画等の作成</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保育方針は「情緒豊かな子、自主性のある子、社会性のある子」と掲げ、子どもを尊重したものとなっています。</li> <li>・ 保育計画は「よこはまの保育」(横浜市が提示している保育の基準)を基本として、園独自に年齢ごとの生活面、運動機能面の目安を設けています。</li> <li>・ 乳児からは子どもの表情や態度から意思を汲み取り、幼児からは意見や意思を聞いて保育を行っています。</li> <li>・ 保護者のさまざまな就業形態に対応できるよう、長時間保育や産休明け保育を実施しています。</li> <li>・ 保護者からの意見を行事などには反映していますが、今後は保護者に保育計画を説明することが望まれます。</li> </ul>
<p>- 2 子どもの発達や状況に応じた適切な援助の実施</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 入園前の子どもの状況は面接や児童票で把握し、保育に活かしています。</li> <li>・ ならし保育の説明を行い、0・1歳児の新入園児は週単位で主担当を決めて受け入れています。</li> <li>・ 開設時は「よこはまの保育」を基本としていましたが、子どもの状況に合わせて、当番活動や午睡の仕方などを見直しました。</li> <li>・ 保護者からの要望については職員会議で検討し、指導計画の改訂時に反映しています。</li> </ul>
<p>- 3 快適な施設環境の確保</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 毎日職員により清掃が行われ、年1回は業者による清掃も行われて、園内外とも清潔に保たれています。各階の倉庫や各保育室の収納場所も豊富で、整然と片付いています。</li> <li>・ 保育室は、2歳児室以外はすべて南向きで明るく、1階は床暖房で加湿器も設置され、温湿度が適切に管理されています。</li> <li>・ 各室は独立しており、隣室からの騒音はありません。</li> <li>・ 1歳児室は、広い部屋を3つに区切って小グループで落ち着いて過ごせるように工夫し、隅に絵本コーナーを設けています。</li> <li>・ 午睡の時間に起きている乳児に対しては、ロビーの一部を区切って遊び場とするなど、低年齢児の小集団に適した空間が豊富にあります。</li> </ul>


<p>- 4 一人ひとりの子どもに個別に対応する努力</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 0、1、2 歳児の個別指導計画があります。</li> <li>・ 幼児にも特別の課題がある子どもには個別指導計画を立てています。</li> <li>・ 子ども一人ひとりの状況は、児童票、経過記録に記録し、進級時に引き継がれています。</li> <li>・ 子どもの記録内容は、クラス内では共有していますが、今後は全職員に周知することが望まれます。</li> </ul>
<p>- 5 保育上、特に配慮を要する子どもへの取り組み</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 障がいを持つ子どもを積極的に受け入れています。</li> <li>・ 特に配慮を要する子どもについてはケース会議で話し合わせ、記録をして職員間で共有しています。</li> <li>・ 障がいを持つ子どもについては、地域療育センターの巡回指導を受けると同時に、担当保育士がセンターのリハビリの見学に行くなど連携をとっています。</li> <li>・ アレルギー疾患の子どもについては栄養士と保護者、担任が献立のチェックを行い、アレルギー物質を含む食品の除去をしたり代替食を出したりしています。</li> <li>・ 現在は、文化や生活習慣の違う子どもはいませんが、過去には対応をしていました。</li> <li>・ 障がいやアレルギーについての研修を受けた結果を職員間で共有することが望まれます。</li> </ul>
<p>- 6 苦情解決体制</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保護者は、担任、園長に直接伝える他、連絡帳や玄関に設置されている意見箱を利用して意見・要望を伝えることができます。</li> <li>・ 担任や園長は保護者の意見を受け入れ、信頼関係を築くよう努めています。</li> <li>・ 保護者から出された意見・要望についての解決策が、職員に周知されています。</li> <li>・ 苦情対応マニュアルがあり担当が決まっていますので、苦情対応のしくみについて、外部の権利擁護機関などの苦情解決窓口の紹介と併せて、保護者に説明することが望まれます。</li> <li>・ 過去の意見・要望のデータを蓄積、整理し、解決に活かすことが望まれます。</li> </ul>

評価領域 サービスの実施内容



評価分類	評価の理由(コメント)
<p>- 1 保育内容[遊び]</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・おもちゃが豊富に備えられ、子どもたちは年齢に応じて自分たちでおもちゃを取り出して遊んでいます。</li> <li>・子どもたちが落ち着いて遊んだり、体を使って遊んだりすることができる空間が豊富にあります。</li> <li>・プランターと「ルーナガーデン」という畑を使って花や多くの野菜の栽培をし、食育にも活かしています。</li> <li>・散歩には週 2、3 回出かけ、公園で地域の子とも遊んだり、図書館や地区センターで経験を広げています。</li> <li>・絵画や製作物が多く掲示され、調査の日も 3 歳児が雪で遊んだ後、すぐに雪だるまの絵を描いていました。</li> <li>・散歩や園庭を使って体を動かしていますが、体全体を系統だって動かすために、週 1 回派遣の専門講師による体操の時間を設け、鉄棒、マット、縄跳びなどを行っています。</li> <li>・異年齢児交流としては、早朝や延長保育時のほか、夏には縦割り保育を行ったり、火曜日には 3、4、5 歳児が自分の好きなコーナーに行き一緒に遊ぶなどしています。また、5 歳児が午睡後の 1、2 歳児の部屋に行き、布団たたみやおやつの手伝いをしています。</li> <li>・乳児がおもちゃを取り合った時は、「かして」など言葉に出して言うように教え、年長になるとクラス全体で話し合っ解決することもあります。</li> <li>・幼児クラスは体操、リトミック、字や数字のワークの時間、英語などの設定活動が多く行われていますが、主体的に遊び込める時間の工夫も望まれます。</li> </ul>
<p>- 1 保育内容[生活]</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食事はできるだけ食べきるように、量を減らしたり、一口だけは食べるように勧め、励ましたりしてだんだん好き嫌いがなくなるようにしています。</li> <li>・ミルクは各家庭で飲んでいるものと同じ種類のもを用意し、離乳食も子どもの朝食からの経過時間に合わせて、10 時、10 時半、11 時とずらして出すなど、細やかな配慮をしています。</li> <li>・給食は外部業者に委託し、栄養士・調理師が派遣され、園の要望にそった食事作りを行っています。</li> <li>・食事のメニューは豊富で、季節感もあり彩りもよく味付けも工夫されて、保護者からも喜ばれています。</li> <li>・毎月の献立会議は園長、主任、担任、栄養士が参加して行われ、特に乳児の担任とは密に連絡をとっています。</li> <li>・栄養士は子どもの食べている様子を見てまわり、担任とも情報交換し、残食の記録もとって、調理に活かしています。</li> <li>・食器は磁器で、大きさや種類、深さなど年齢にふさわしいものを使っています。</li> <li>・保護者には昼食、おやつ、夕食、軽食、離乳食の献立表が配布され、栄養価と季節や健康と食に関する情報も記載されています。同時に、簡単レシピやお手伝いの勧めや旬の食べ物クイズなど読みやすい「給食便り」が、委託先</li> </ul>






	<p>の業者から配布されています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 午睡時は遮光スクリーンを下ろし、静かな音楽を流しています。</li> <li>・ 午睡時間に起きている0歳児は、ロビーの隅についたてを置いて作った遊び場で、保育士と遊んでいます。</li> <li>・ 5歳児は午睡の時間をだんだん短くし、1月からは一斉に寝ることはしませんが、保護者の意向を受けて必要な子どもだけ寝るようにしています。</li> <li>・ トイレは外出前や食事前などは一斉に行かせますが、一人ひとりの排泄のリズムを把握して、個別にも対応しています。</li> </ul>
<p>- 2 健康管理・衛生管理・安全管理 [健康管理]</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 健康管理マニュアルはありませんが、デイリープログラムや業務の流れに沿って、子どもの健康状態を把握しています。</li> <li>・ 健康診断は年2回、歯科検診は年1回行い、健康記録に記載して保護者に伝えています。</li> <li>・ 1歳半から食後の歯磨きを行い、1、2歳児は仕上げを保育士が行い、幼児は自分で磨いています。</li> <li>・ 保育中に感染症を発症した場合は速やかに保護者に伝え、他の保護者にも掲示や連絡帳で知らせています。</li> <li>・ 看護師が園全体の健康管理をし、保育士とともにケガや病気の対処をしています。</li> </ul>
<p>- 2 健康管理・衛生管理・安全管理 [衛生管理]</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 給食室については、委託業者のマニュアルによって衛生管理がしっかり行われています。</li> <li>・ 保育室やトイレは清掃の手順にそって清掃が行われ、清潔に保たれています。</li> </ul>
<p>- 2 健康管理・衛生管理・安全管理 [安全管理]</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 園独自に作成された安全管理マニュアルがあり、災害時の対応については保護者にも周知されています。</li> <li>・ 子どものケガは、どんな小さなケガでも保護者に報告をしています。</li> <li>・ 事故は事故報告簿に記録し、リーダーミーティングで事故の報告をし、再発防止策を話し合っています。</li> <li>・ 不審者侵入対策として、門は施錠し、2004年度から監視カメラシステムを導入し、事務室で門と周辺の映像を見ることができるようになっています。</li> <li>・ 県職員による不審者対応の訓練も実施しています。</li> </ul>
<p>- 3 人権の尊重</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 広い空間や多くのスペースがあるので、子どもが、ひとりで過ごす場や、保育士と1対1で話せる場があります。</li> <li>・ 虐待の定義は職員に周知され、児童相談所など関係機関との連携体制があります。</li> <li>・ 保育士は、ほとんどの場合子どもたちに優しく対応していますが、時に厳しく一方的に叱り、親しみを込めた場合以外でも子どもの名前を呼び捨てにしている場面が見受けられます。また、観察時は、子どもの意見を聞く場面が余り見られませんでした。今後の改善が望まれます。</li> <li>・ 性差については、色などで男女の区別がされている部分もあります。今後は検討が望まれます。</li> <li>・ 守秘義務については全職員が認識していますが、個人情報保護に関するガイドラインの整備が望まれます。</li> </ul>

<p>- 4 保護者との交流・連携</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保護者とは連絡帳を使用して家庭と園の状況をやり取りしています。</li> <li>・ 幼児クラスは、クラスの様子を毎日ホワイトボードに書いて玄関に提示し、送迎時に保護者が読めるようにしています。</li> <li>・ 保育士は、保護者の送迎時に口頭で子どもの様子を伝えるように努めています。</li> <li>・ 保護者からの相談は担任が対応し、主任・園長にも報告してアドバイスを受けられるようになっています。</li> <li>・ 毎月配布される「園だより」は全クラスの様子が生き生きと記されているほか、子育て情報や季節にふさわしい健康情報、災害時の対応なども載っていて充実しています。</li> <li>・ 保育参観は年1回、保護者懇談会は2回実施していますが、個人面談の実施や保育参加の機会提供も望まれます。</li> <li>・ 保護者会はありませんが、保護者の集まりに施設を提供し、掲示板も提供しています。</li> </ul>
---	--




評価領域 地域支援機能

評価分類	評価の理由(コメント)
<p>- 1 地域のニーズに応じた子育て支援サービスの提供</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 月1回、臨床心理士による講義、子育て相談を行っています。一時保育を利用している保護者の参加もあり、地域の子育て支援ニーズを把握しています。</li> <li>・ 一時保育専用の部屋を設け、専任のベテラン保育士を配置しています。</li> <li>・ 一時保育の一環として、リフレッシュ保育(地域で乳幼児を育児中の親がリフレッシュするための一時保育)を毎週金曜日に実施しています。降園前には親子リトミックや親子体操をプログラムとして取り入れ、気軽に利用できるよう工夫しています。</li> <li>・ 1・2歳児クラスで、地域の親子が保育に参加する機会(交流保育)を設けています。障がいのある子どもも受け入れています。</li> <li>・ 地域住民からの施設への要望を把握する仕組みをつくることが望まれます。</li> </ul>
<p>- 2 保育園の専門性を活かした相談機能</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一時保育利用の保護者からの育児相談には、随時応じています。</li> <li>・ 相談内容に応じた関係諸機関・団体との連絡は、主に園長が行っています。</li> <li>・ 地域住民に対する育児相談日を、定期的に設けることが望まれます。</li> </ul>

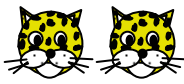


評価領域 開かれた運営

評価分類	評価の理由(コメント)
<p>- 1 保育園の地域開放・地域コミュニティへの働きかけ</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 園の運動会に、地元町内会の人々を招待しています。</li> <li>・ 小学2年生がクラス単位で来園し、子どもたちと一緒に遊ぶ機会を持っています。</li> <li>・ 近隣の警察署や消防署等の見学を散歩コースに組み込んでいます。勤労感謝の日には、子どもたちがプレゼントを持って感謝の気持ちを伝えに行っています。</li> <li>・ 5歳児は、近くの図書館へも出かけています。</li> <li>・ 近くの公園で催しがある際、園の駐車場を開放しています。</li> </ul>
<p>- 2 サービス内容等に関する情報提供</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「園のパンフレット」「入園のしおり」により、案内をしています。</li> <li>・ 見学の曜日や時間は、保育に支障をきたさない範囲で見学希望者の都合に合わせてるようにしています。</li> </ul>
<p>- 3 ボランティア・実習の受け入れ</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保土ヶ谷区社協からの依頼で、「夏休みちょっとだけボランティア」として中・高校生を受け入れています。</li> <li>・ 中・高校生の授業の一環としてのボランティアも受け入れています。</li> <li>・ 実習生の受け入れにあたっては、実習前にあらかじめ本人に来園してもらい、本人の希望や学校からの習得課題などを聞き、実践できるように協力しています。</li> <li>・ ボランティア受け入れのための要領・手順(マニュアル)などを整備することが望まれます。</li> </ul>

評価領域 人材育成・援助技術の向上

評価分類	評価の理由(コメント)
<p>- 1 職員の人材育成</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 園運営に十分な人材構成であるかをチェックし、必要な人材の補充を逐次行い、ゆとりある人員配置となるようにしています。</li> <li>・ 園長が年1回、職員と面接を行い、話し合いにより各自の目標を定めています</li> <li>・ 職員は、外部研修へ参加していますが、その成果を職員間で共有する仕組みをつくることが望まれます。</li> <li>・ 内部研修を行うことが望まれます。</li> <li>・ 人材育成計画の策定が望まれます。</li> </ul>
<p>- 2 職員の技術の向上</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 職員会議や毎日の午後のミーティング時に、援助技術の向上についても話し合いを行っています。</li> <li>・ 職員は、外部研修への参加により、援助技術を高める機会を与えられ、日々の業務に活かしています。</li> <li>・ 外部の講師による体操技術の指導を受けています。</li> <li>・ 工夫・改善した良いサービス事例をもとに、一層のサービス向上を目指した会議・勉強会などを行うことが望まれます。</li> </ul>
<p>- 3 職員のモチベーション維持</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 園長が年1回、職員と面接を行い、満足度・要望などを把握しています。</li> <li>・ 複数職員が配置のクラスでは、年間のリーダーを定めていますが、その他の職員が週間リーダー役を1週ごとに交代で務めるようにし、各人が様々な経験を積めるように配慮しています。</li> <li>・ 職員休憩室を整備したり、衣服を支給したりするなど福利厚生の充実にも努めています。</li> <li>・ 経験・能力や習熟度に応じた役割等を、期待水準として明文化することが望まれます。</li> </ul>

評価領域 経営管理

評価分類	評価の理由(コメント)
<p>- 1 経営における社会的責任</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業者として守るべき法・規範・倫理等は、職員会議などを通じて周知されています。</li> <li>・ 製作の材料に廃材を利用するなど、環境に配慮しています。</li> <li>・ 理事会への年度報告・年度計画などはなされていますが、それらを職員に積極的に説明することが望まれます。</li> </ul>
<p>- 2 施設長のリーダーシップ・主任の役割等</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 年1回の園長と職員の個別面接時に、基本方針が理解できているかを確認しています。</li> <li>・ 毎日の午後のミーティングに園長・主任も参加し、適宜職員への助言・指導を行っています。</li> <li>・ 定期的に保護者懇談会を開き、連絡事項などの伝達は行っていますが、積極的に保護者との意見交換を行う場とすることが望まれます。</li> <li>・ 主任は、個々の職員の業務状況を把握し、良好な状態で仕事に取り組めるよう配慮しています。</li> <li>・ スーパーバイズできる主任クラスを計画的に育成するプログラムを作成することが望まれます。</li> </ul>
<p>- 3 効率的な運営</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 園長は、事業運営に影響のある情報を適宜収集し、特に保護者の働き方の多様性に対応したサービスの必要性を認識していますので、課題を整理し、具体的に検討されることが臨まれます。</li> <li>・ 第三者評価の受審で気づいた課題の改善を始めています。それに併せて、中長期的な事業計画を作成したり、運営に関し外部の機関や専門家の意見を取り入れたりすることが望まれます。</li> </ul>

## 利用者家族アンケート 分析

- 1、実施期間 2005年11月19日～12月9日
- 2、実施方法 事業者から直接利用者家族に配付（手渡し）
- 3、回収率 53.8%（117枚配付、63枚回収）
- 4、所属クラス 0歳児...6人、1歳児...11人、2歳児...14人、3歳児...11人、4歳児...9人、5歳児...11人  
無回答...1人

ただし複数名が在籍の場合には下の児童のクラス。

### 結果の特徴

- ◇ **保育目標や保育方針**を知っている保護者は 58.7%で、その内 60.3%が保育目標や保育方針に賛同できると答えていますが、無回答が 36.5%あります。
- ◇ **入園時の状況**については、「その他」が多くなっていますが、新設園のため見学がなかった、が主な理由です。
- ◇ **年間の計画**については、「年度初めに計画表が配布され予定が立て易い」等満足していますが、「行事は土日に行つて欲しい」という意見もあります。
- ◇ **日常の保育内容の遊び**について、保護者は満足しています。「リトミック、英語、体操、菜園などきめ細かな対応でとても良いと思う」「先生手づくりのおもちゃで楽しんでいるようです」との声があります。「少し園庭が狭い」との指摘もありますが、「園外の公園等公共の場での外遊びの工夫」は評価されています。**生活**では、食事に対する満足度は高く「バリエーションがあり、栄養面などきちんと対応して下さっている」「食欲のない時は、お粥を出す等きめ細かい対応をして頂いている」との声があります。ケガへの対応は「小さな擦り傷でもきちんと報告があり安心しています」と声がある一方、「報告がなかったり見過ごしていたりすることがある」という意見もあります。
- ◇ **快適さや安全対策**については、「新設で快適・清潔である」と満足していますが、「もう少し園庭が広いと良い」「木をもっと植えてほしい」という意見もあります。「門はロック式で、監視モニターが設置されている」と保護者は評価していますが、なお一層の不審者侵入対策を求める意見もあります。
- ◇ **園と保護者との連携・交流**については、連絡ノートでの細かい記入に大部分の方は満足していますが、「個別面談を望む」声があります。
- ◇ **職員の対応**については、「良く相談にのってくれる」との声があります。一方、「保育士の言葉遣いや迎え時の対応に注意して欲しい」「気軽に相談できる雰囲気はない」という意見もあります。
- ◇ **総合満足度**は高くなっています。（満足 73.0%、どちらかといえば満足 23.8%）

### 結果の概要

- ◇ 保育園のサービス内容に関する設問で、満足度（\*）が高かった項目、やや低かった項目は下記の通りです。  
\*満足度...「満足」「どちらかといえば満足」を合わせた数値

	設問内容	満足度(%)	満足(%)	どちらかといえば満足(%)
満足度が高かった項目	給食のメニューの充実	100	79.4	20.6
	園のおもちゃや教材について(お子さんが自由に使えるように置いてあるか、年齢にふさわしいかなど)	100	79.4	20.6
	お子さんが保育園生活を楽しんでいるか	98	73.0	25.4
	園だよりや掲示による、園の様子や行事に関する情報提供	98	68.3	30.2
	お子さんが落ち着いて過ごせる雰囲気	98	65.1	33.3
満足度がやや低かった項目	不満や要望を気軽に言えるかどうか	75	41.3	33.3
	不満や要望への対応	79	41.3	33.3
	外部からの不審者侵入に対する備え	79	41.3	38.1
	年間の保育や行事に保護者の要望が活かされているか	79	41.3	38.1

「見学の受入れ」は、満足度が65%と低いですが、開園当初(約3年半前)で事前見学はできなかった等の理由で、「その他記入」が多いために数値が低くなっているため、上表項目からは除外しました。

## 利用者家族アンケート集計結果

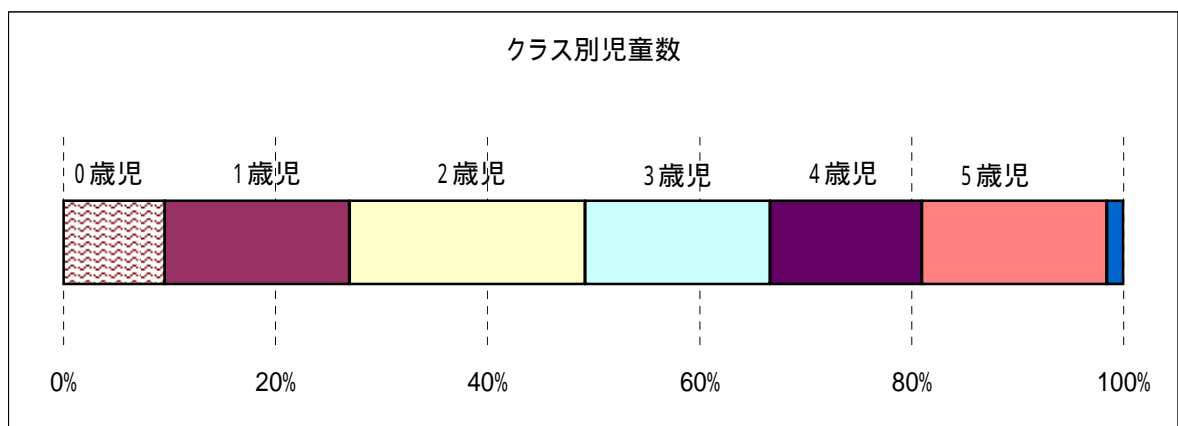
実施期間： 2005年 11月19日～12月9日

回収率： 53.8% （回収63枚 / 配付117枚）

### 【属性】

クラス別児童数 複数在籍の場合は、下の子どもで記入

合計	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	無回答
63	6	11	14	11	9	11	1





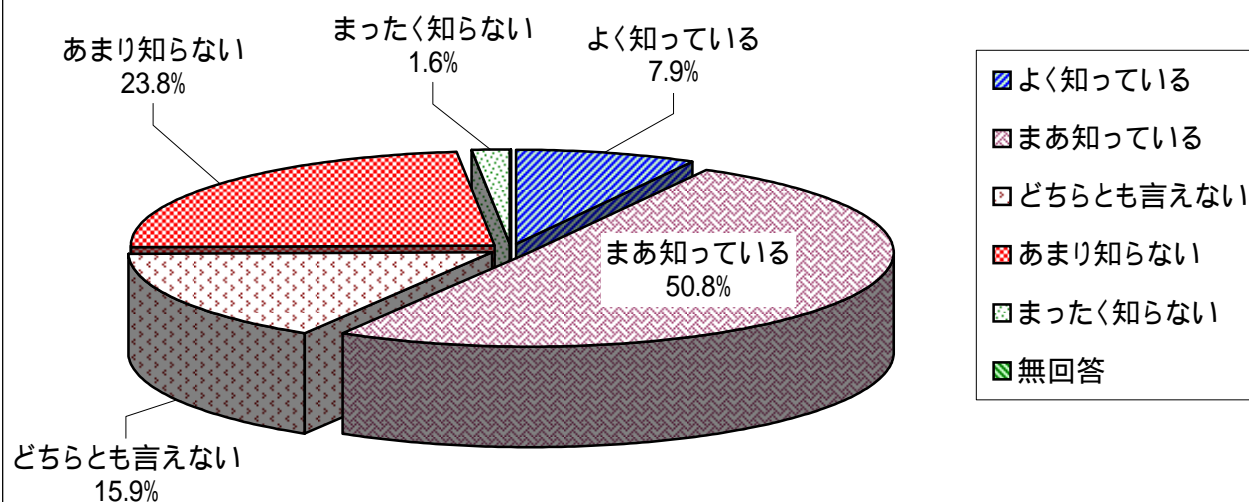
## 保育園の基本理念や基本方針について

### 問1: 保育園の保育目標や保育方針を知っていますか

(%)

問1:	よく知っている	まあ知っている	どちらとも言えない	あまり知らない	まったく知らない	無回答	計
あなたは、この園の保育目標・保育方針をご存じですか	7.9	50.8	15.9	23.8	1.6	0.0	100

#### 保育園の保育目標・保育方針を知っていますか



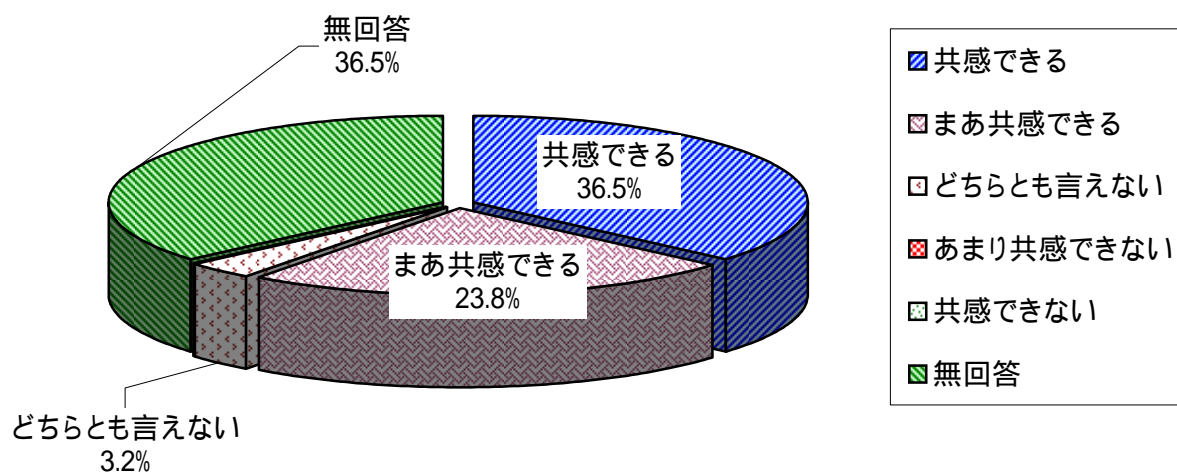
「よく知っている」「まあ知っている」と答えた方への付問

### 付問1: その保育目標や保育方針は賛同できるものだと思いますか

(%)

付問1:	共感できる	まあ共感できる	どちらとも言えない	あまり共感できない	共感できない	無回答	計
あなたは、その保育目標や保育方針は賛同できるものだと思いますか	36.5	23.8	3.2	0.0	0.0	36.5	100

#### 保育目標や保育方針は賛同できるものだと思いますか





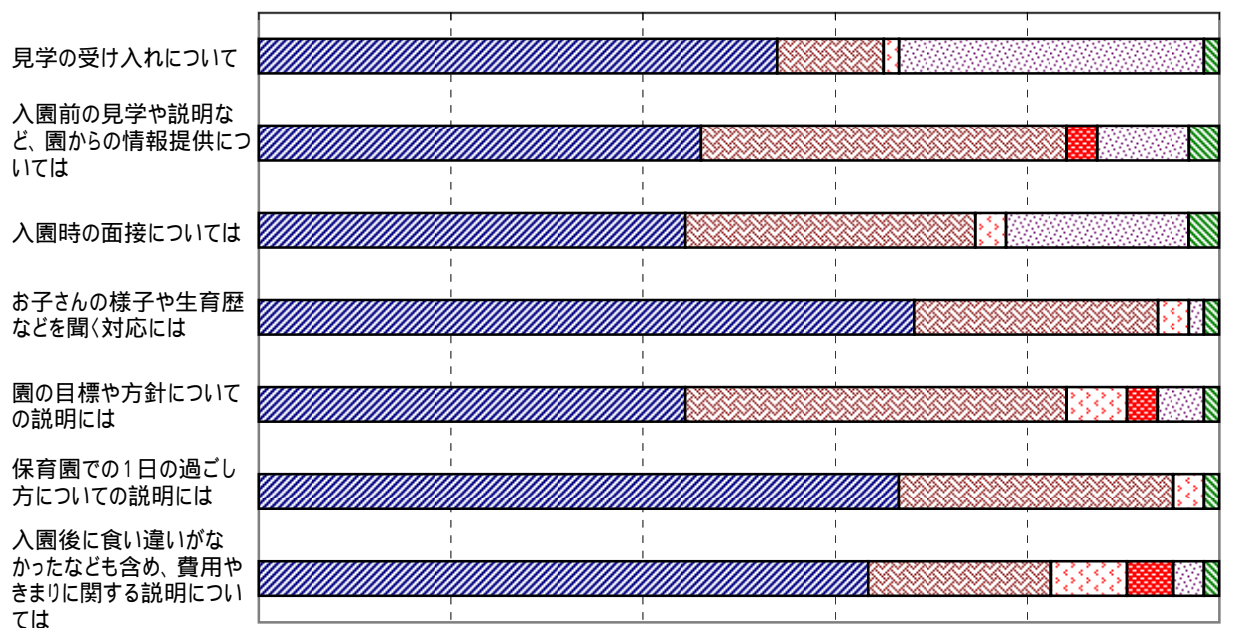
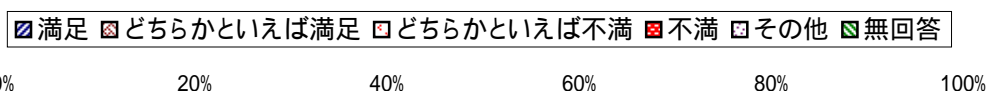
# 保育園のサービス内容について

## 問2 入園時の状況について

(%)

	満足	どちらかといえ ば満足	どちらかといえ ば不満	不満	その他	無回答	計
見学の受け入れについて	54.0	11.1	1.6	0.0	31.8	1.6	100
入園前の見学や説明など、園からの情報提供については	46.0	38.1	0.0	3.2	9.5	3.2	100
入園時の面接については	44.4	30.2	3.2	0.0	19.0	3.2	100
お子さんの様子や生育歴などを聞く対応には	68.3	25.4	3.2	0.0	1.6	1.6	100
園の目標や方針についての説明には	44.4	39.7	6.3	3.2	4.8	1.6	100
保育園での1日の過ごし方についての説明には	66.7	28.6	3.2	0.0	0.0	1.6	100
入園後に食い違いがなかったなども含め、費用やきまりに関する説明については	63.5	19.1	7.9	4.8	3.2	1.6	100

### 入園時の状況について

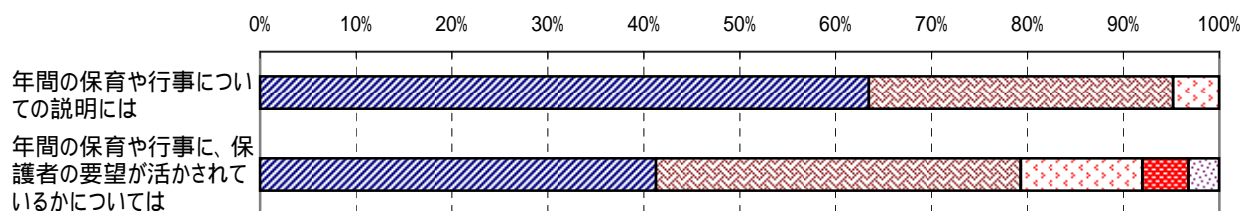
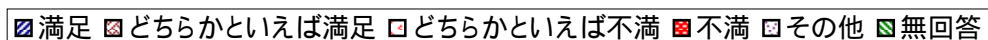


## 問3 年間の計画について

(%)

	満足	どちらかといえ ば満足	どちらかといえ ば不満	不満	その他	無回答	計
年間の保育や行事についての説明には	63.5	31.8	4.8	0.0	0.0	0.0	100
年間の保育や行事に、保護者の要望が活かされているかについては	41.3	38.1	12.7	4.8	3.2	0.0	100

### 年間の計画について

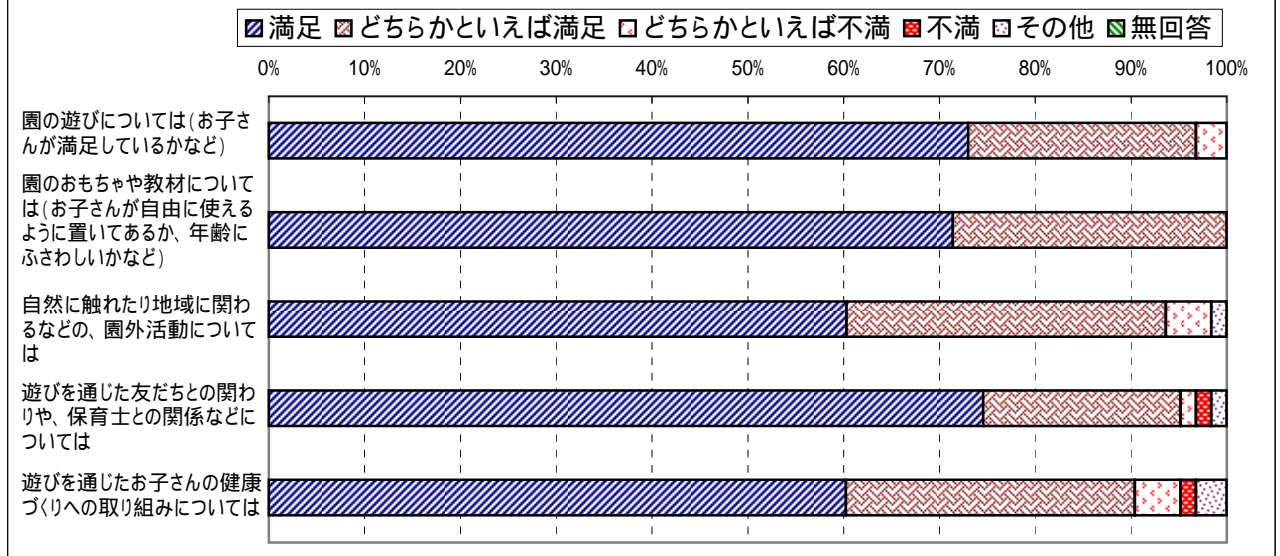


## 問4 日常の保育内容について

(%)

「遊び」について	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
園の遊びについては(お子さんが満足しているかなど)	73.0	23.8	3.2	0.0	0.0	0.0	100
園のおもちゃや教材については(お子さんが自由に使えるように置いてあるか、年齢にふさわしいかなど)	71.4	28.6	0.0	0.0	0.0	0.0	100
自然に触れたり地域に関わるなどの、園外活動については	60.3	33.3	4.8	0.0	1.6	0.0	100
遊びを通じた友だちとの関わりや、保育士との関係などについては	74.6	20.6	1.6	1.6	1.6	0.0	100
遊びを通じたお子さんの健康づくりへの取り組みについては	60.3	30.2	4.8	1.6	3.2	0.0	100

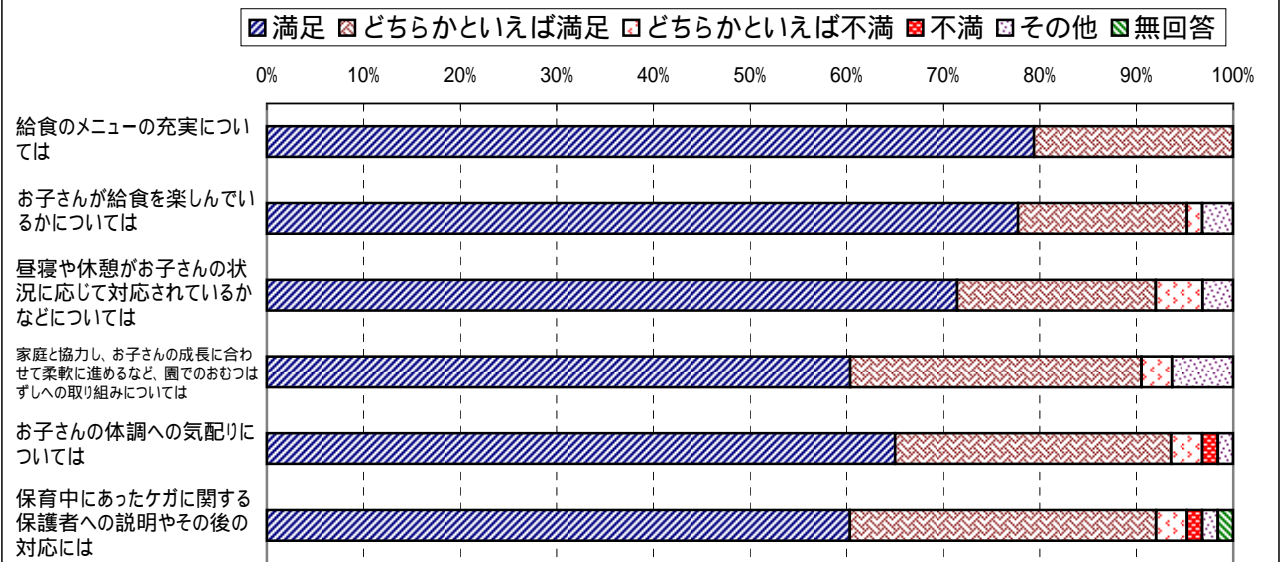
### 日常の保育内容「遊び」について



(%)

「生活」について	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
給食のメニューの充実については	79.4	20.6	0.0	0.0	0.0	0.0	100
お子さんが給食を楽しんでいるかについては	77.8	17.5	1.6	0.0	3.2	0.0	100
昼寝や休憩がお子さんの状況に応じて対応されているかなどについては	71.5	20.6	4.8	0.0	3.2	0.0	100
家庭と協力し、お子さんの成長に合わせて柔軟に進めるなど、園でのおむつはずしへの取り組みについては	60.3	30.2	3.2	0.0	6.3	0.0	100
お子さんの体調への気配りについては	65.1	28.6	3.2	1.6	1.6	0.0	100
保育中にあったケガに関する保護者への説明やその後の対応には	60.3	31.8	3.2	1.6	1.6	1.6	100

### 日常の保育内容「生活」について



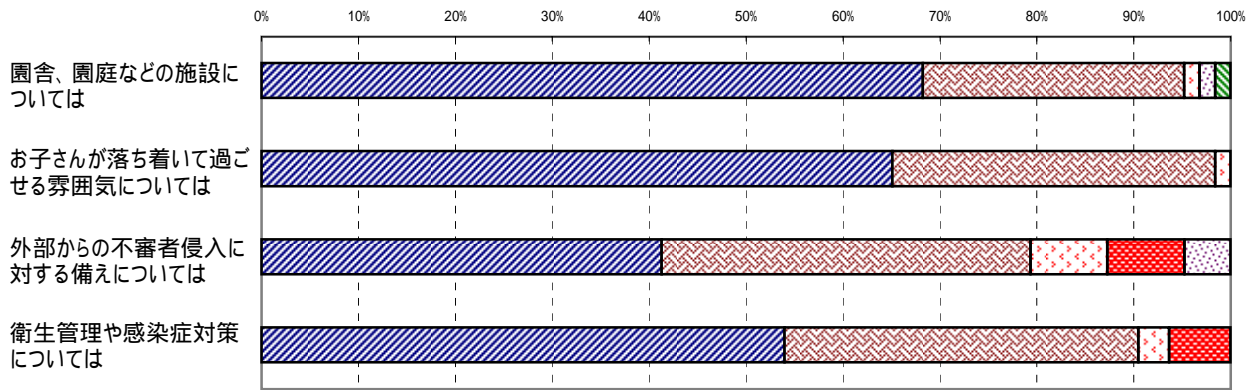
## 問5 快適さや安全対策などについて

(%)

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
園舎、園庭などの施設については	68.3	27.0	1.6	0.0	1.6	1.6	100
お子さんが落ち着いて過ごせる雰囲気については	65.1	33.3	1.6	0.0	0.0	0.0	100
外部からの不審者侵入に対する備えについては	41.3	38.1	7.9	7.9	4.8	0.0	100
衛生管理や感染症対策については	54.0	36.5	3.2	6.4	0.0	0.0	100

### 快適さや安全対策などについて

■満足 ■どちらかといえば満足 ■どちらかといえば不満 ■不満 ■その他 ■無回答



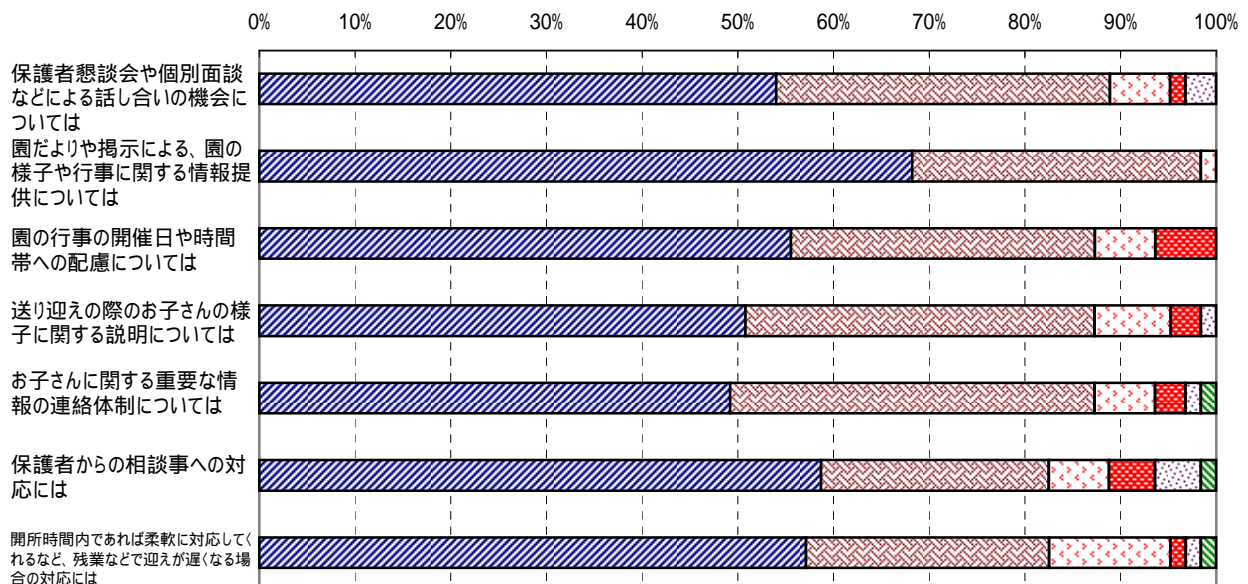
## 問6 園と保護者との連携・交流について

(%)

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会については	54.0	34.9	6.3	1.6	3.2	0.0	100
園だよりや掲示による、園の様子や行事に関する情報提供については	68.3	30.2	1.6	0.0	0.0	0.0	100
園の行事の開催日や時間帯への配慮については	55.6	31.7	6.3	6.3	0.0	0.0	100
送り迎えの際のお子さんの様子に関する説明については	50.8	36.5	7.9	3.2	1.6	0.0	100
お子さんに関する重要な情報の連絡体制については	49.2	38.1	6.3	3.2	1.6	1.6	100
保護者からの相談事への対応には	58.7	23.8	6.3	4.8	4.8	1.6	100
開所時間内であれば柔軟に対応してくれるなど、残業などで迎えが遅くなる場合の対応には	57.1	25.4	12.7	1.6	1.6	1.6	100

### 保護者との連携・交流について

■満足 ■どちらかといえば満足 ■どちらかといえば不満 ■不満 ■その他 ■無回答



## 問7 職員の対応について

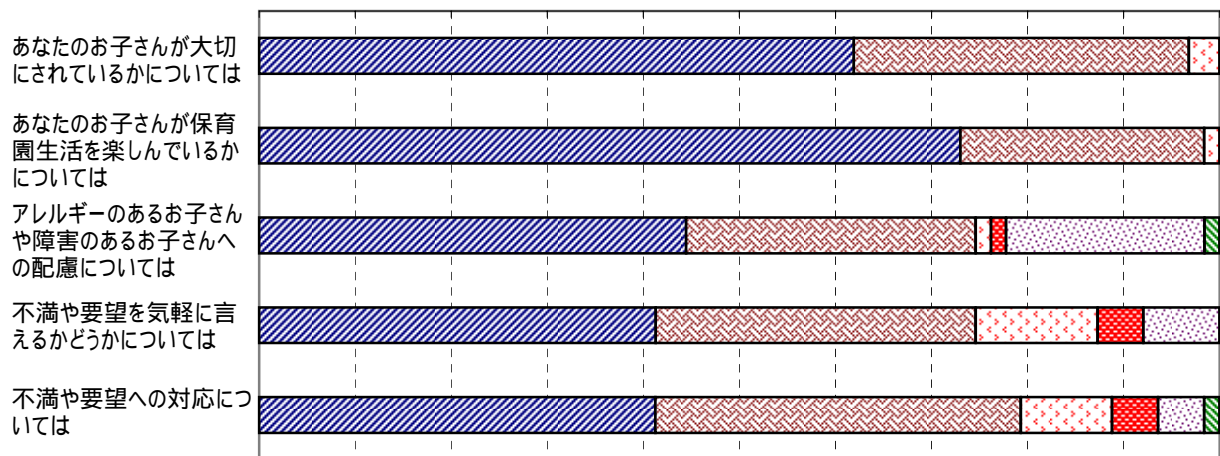
(%)

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
あなたのお子さんが大切にされているかについては	61.9	34.9	3.2	0.0	0.0	0.0	100
あなたのお子さんが保育園生活を楽しんでいるかについては	73.0	25.4	1.6	0.0	0.0	0.0	100
アレルギーのあるお子さんや障害のあるお子さんへの配慮については	44.4	30.2	1.6	1.6	20.6	1.6	100
不満や要望を気軽に言えるかどうかについては	41.3	33.3	12.7	4.8	7.9	0.0	100
不満や要望への対応については	41.3	38.1	9.5	4.8	4.8	1.6	100

### 職員の対応について

■満足 ■どちらかといえば満足 □どちらかといえば不満 ■不満 □その他 ■無回答

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

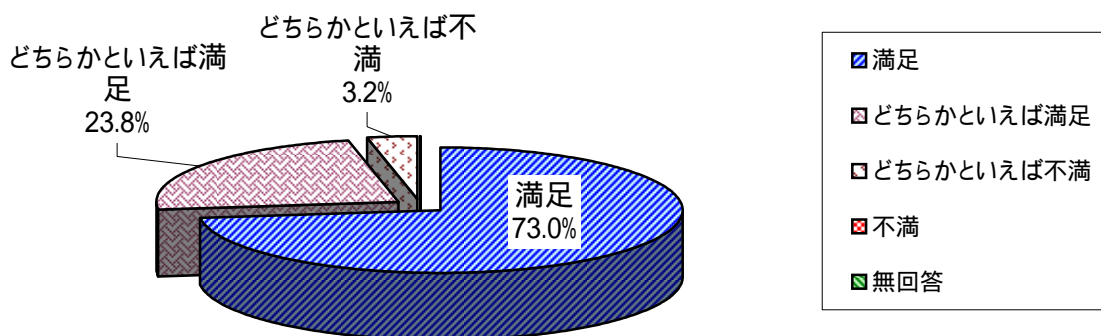


## 問8 保育園を総合的に評価すると

(%)

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	無回答	計
総合満足度は	73.0	23.8	3.2	0.0	0.0	100

### 総合満足度



## 利用者本人調査 分析

観察調査 1月23日(月) 9:15~12:30 17:30~18:30 1月27日(金) 11:00~12:30  
聞き取り調査 1月23日(月)13:00~14:00 5歳児クラス全員 16名を4グループに分けて保育室で実施

### 1. 遊びについて

#### 観察調査

- ・ 1日目は、週末の大雪の後で園庭に雪が残っていて、幼児は2階ホールでの体操の時間(5歳児はマットの上での前転と鉄棒の逆上がり)の前後に園庭へ出て雪遊びをしました。
- ・ 5歳児クラスの子どもは、園庭へ出てしばらくは所在なげでしたが、そのうちシャベルを使い出し、女の子がカキ氷やさんを始め、先生は「氷作る?」と聞いて回り、コップを渡していました。
- ・ 3歳児クラスは外に出て「屋根から雪が落ちてくるかも知れないので、ここから向こうで遊ぼう」と指示されていました。5歳児の様子を見ていたり、一緒にじゃんけんをしたり、シャベルで雪だるまを作ったりしていました。
- ・ 1歳児は散歩の予定を変更して、ロビーや保育室でトランポリンで弾んだり、ブロック、ままごとで遊んでいました。
- ・ 2日目は2歳~5歳児クラスのリトミックの日で、5歳児クラスには、週1回一時保育を利用している障がいのある子どもも加わっていました。指示動作を絵カードで示すなどの工夫が見られました。
- ・ その後はリフレッシュ保育を終えた親子の体操の時間。先生の掛け声に合わせて、楽しんでいました。

#### 聞き取り調査

- ・ 好きな遊びは室内ではままごと、ブロック、お絵かき、ぬりえ、外では鬼ごっこ、ボール遊び、忍者ごっこ、縄跳び、砂場の山づくり。体操やリトミックは好きという子どもが多く、英語は半々でした。
- ・ 遊具は朝と夕方は自由に使っているが、朝は先生が出したり、夕方はテーブルごとに多数決やじゃんけんなどで2、3個ずつ決めて出す。保育園は皆が楽しい、と答えていました。

### 2. 食事について

#### 観察調査

- ・ 1歳児の朝のおやつ(おせんべいと牛乳)時は、食べられない子どもに「がんばれ」と保育士が声を掛けると、子どもたちも真似て「がんばれ」と言っていました。昼食時、次々とおかわりをし、先生は子どもに何がおかわりしたいのかを聞いてしっかり言わせたり、食べると「すごい」と褒めていました。食べるのが遅くてもしっかり食べようとする子どもには、40分以上付き添っていました。
- ・ 3歳児は給食を当番が配り、調査者に三角食べを教えてくださいました。
- ・ 5歳児は当番がご飯とおかずをよそい、各自が自分の分を取りに行っていました。食べ終わっていない子どもは隅のテーブルに移って、他の子どもたちが床の雑巾掛けを始める中、食べ続けていました。

#### 聞き取り調査

- ・ 給食はほとんどが「おいしい」と答え、嫌いなものでもがんばって食べるとのことでした。
- ・ 好きなものはカレー、ハヤシ、グラタン、嫌いなものは、野菜、魚、牛乳、蒸しパン。嫌いなものはないという子ども数人いました。

### 3. 排泄について

#### 観察調査

- ・ 1歳児は遊ぶ前にトイレへ。トレーニングパンツの子どもが多く、ほとんどの子どもは自分でパンツをはこうとしていました。1時間後にまた全員をトイレに連れて行きました。保育士に聞くと「この頃は寒いので40分くらいで連れて行く。20分から110分くらいの個人差がある」とのことでした。

- ・ 3歳児は外遊びの前、食事前、午睡前に保育士が声を掛けてトイレへ。その他の時間は、子どもは必ず「トイレに行く」といってから行っていました。

#### 聞き取り調査

- ・ 散歩に行く前、片付けの後トイレへ行く。他の時は先生に言って行く。走っちゃダメ。
- ・ ウンチの後は3歳のときは先生に拭いてもらったが、今は自分でふける。

### 4. 清潔・健康について

#### 観察調査

- ・ 1歳児は食事の前には手にスプレー式の消毒をしてもらっていました。トイレの後は1人ずつ必ず手を洗い、洗っていない子どもには声を掛けたり、抱いて洗面所へ連れて行っていました。
- ・ 幼児は園庭から帰ってくると水分補給、体操の後は手洗い、うがいをしていました。

#### 聞き取り調査

- ・ 昼寝は時々する。するかどうかや寝る時間はママが決める。
- ・ ケガをしたときは部屋に帰って消毒をもらったり、ぬれたときは着替える。
- ・ 熱が出たときは「そとバツ（外へ出ない）」で、部屋で待っている。病気のお母さんに電話をしてくれ、お母さんが来るまで部屋の隅で寝ている。

### 5. いやな思いへの対応や権利を守ることに

#### 観察調査

- ・ 1歳児のおもちゃの取り合いについては、保育士が「かして」と言うように教えたり、「ちゃんが使ってたよ」と伝えていました。何もしない子どもに手が出た子どもにはきつく叱り、その後しばらくその子どもを保育士が抱っこしていました。
- ・ 3歳児クラスでは泣き出した子どもに気付いた保育士が、相手の子どもに「やらないって言ったでしょう。目を見て」と保育士の方を見させて注意していました。

#### 聞き取り調査

- ・ 嫌なことは、友達に呼び捨てにされたり、意地悪をされたとき、けんかをしたとき、けんかをして謝っても許してくれないとき。
- ・ 嫌なことをされた時には、自分で相手に「やめて」と言ったり、仲直りできることもある。先生に言って注意してもらうこともある。嫌なときでも先生に言わない、自分で我慢をするという子どもも。また、嫌なことはないという子ども数人いました。

### 6. 職員について

#### 観察調査

- ・ 1歳児のトランポリンでは保育士が手を取って弾ませたり、ままごとでは「ハッピーバースデー」と保育士が歌いだして、遊びを発展させるようにしていました。遊びの間も時々保育士のひざに乗ってくる子どもをしっかりと抱きとめていました。
- ・ 幼児クラスの保育士には、遊びの中に積極的に関わらず見守るような場面が多くみられました。クラスによっては「走らない」「だらだらしない」など注意の言葉が多く聞かれました。

#### 聞き取り調査

- ・ 先生は優しい、好き。先生は、友達をいじめたりうそをついたり、大事なものを壊したり、勝手にトイレへ行ったり、無視したりしたら怒る、いや注意するんだ、と言い直していました。
- ・ うそをつく廊下やひつじ組（4歳児）の部屋に連れて行かれる。
- ・ 他の先生と遊ぶのは担任の先生が休んだとき、合同や縦割り、英語の時など。園長先生とはたまに遊ぶ、遊ばないと両方ありました。

## 事業者意見

当園は開園して4年目ということもあり、第三者評価を受審するにはまだ早いかと思いましたが、今後どのように保育の充実を図っていくかを職員と積極的に話し合う良い機会かと思い受審しました。

自己評価を職員とともに何度も話し合いすすめていく中で、職員間で共通の認識を再確認し、実際に実施している内容について文書化されていないこと、マニュアルを作成するべきであることに気付きました。また、話し合いの中で、改善すべき点を確認し合いました。第三者評価を受ける準備段階で、今までしてきたこと、これからの課題について職員と再確認ができたことは 本当に有意義であったと思います。

評価を受ける中で、保育というのは継続性のあるものであるため、一部の断片を評価されることには限界があるかとも思う反面、違う面から見ればそう見えるのかと反省させられる部分もありました。

最終的な評価結果としては、職員とともに考えてきた結果より良い評価を受けることができ 喜んでおりますが、改善すべき点、特に地域支援機能についてはこれからの課題として、職員全員で取り組んでいきたいと思っております。